

4－1．学校研究

1 研究主題

研究主題 自律的に学ぶ生徒の育成

2 主題設定の理由

今回主題に設定した「自律的に学ぶ生徒」とは、自ら学ぶことに積極的で、自分自身で学ぶ目標を設定し、計画的に学習を進めることができる生徒のことを指す。これからの社会では、加賀市の学校教育ビジョン【スローガン】にもあるように「自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える」Be the player が求められている。従って、知識や技能が急速に進歩し、常に新しい情報が生み出される現代社会において、自律的に学ぶ生徒を育成することはますます重要になっていると考える。

昨年度は、いしかわ道德教育推進事業の指定を受け、道德の授業作りを中心に据えた「自主的に考え、互いを尊重し合い、行動する生徒の育成」という主題のもと研究に取り組んだ。生徒自ら考えたいとする課題の工夫や、考えを深める場の充実を重点に実践し、生徒が自分自身の考えを深めたり、互いの考えを聞き、学び合ったりする姿が多く見られた。また、授業構想シートの利用、ローテーション道德、ゲストティーチャーの活用など、新たな取り組みを推進したことで教師の授業力向上に繋がった。

しかし、本校の現状を全体的にとらえると、授業の多くは主に教師が中心となって進められており、生徒たちは自発的に学ぼうとする意欲を十分に発揮できていない。そこで、自ら学びに向かう意欲に改善の余地があると考えた。

学校は、勉強だけでなく、生徒たちが自分でもっと体験したり学んだりする場でもある。授業だけでなく生徒たちの興味関心を広い範囲に向け、自発的に新たな発見をし、問題解決に取り組む機会を作りたい。生徒たちが自分自身で学びを深め、多様な経験を通じて自己成長を実感することで、より充実した学校生活を送ることができる。そのために、生徒たちが自ら学びを追求できる環境づくりに取り組み、将来に向けて自律的に学ぶ生徒の育成につなげていきたい。

3 研究方針

「自律的に学ぶ生徒の育成」を研究するにあたり、空間デザイン・学習デザイン、協働的な学び、個別最適な学びの三つを取り入れる。そして、教員がそれぞれ三つのチームにわかれ、これらを授業だけでなく学校生活全体において適応させ実施、検証していく。検証するにあたっては「自律的な学び」について教師、生徒ともに共通理解をはかり、定期的なアンケートをもとに評価、改善を行っていく。なお、三つのチームは学力向上における授業づくりチーム、学習の基盤チーム、GIGA チームと連動させる。

① 空間デザイン・学習デザイン

このチームでは学習環境を快適で魅力的なものにすることで、生徒の学習意欲や自律性を促進する。環境が生徒に与える影響は大きいと考え、まずは学びへの意欲が高まるよう校舎内に生徒が自由に触れられる教材を配置したり、学習に必要なツールや資料が簡単に取り出せるように整理するなど工夫していく。また、生徒たちが自分で学習の進め方を決めたり、生徒どうしが協力して学習することができるようにすることも、学習デザインの一例であり、教師側は意図的にこれらを取り入れた授業を構想していく。

② 協働的な学びについては、生徒同士が協力して学習することを促進する。生徒同士が互いの考えを共有することでより深い理解を得ることができる。また、自分が学んだことを他の生徒に教えることで自身の理解度が向上することも期待できる。

③ 個別最適な学びについては、生徒の学習スタイルや能力に合わせて個別に最適な学びの方法を提案する。多様な学びの方法を選択肢として提示するなど生徒に選択させる機会を増やす。

以上の3つの要素を取り入れた研究方針をもとに実施・検証を行い、全職員で取り組んでいくことで生徒のより効果的で自律的な学びを目指していく。

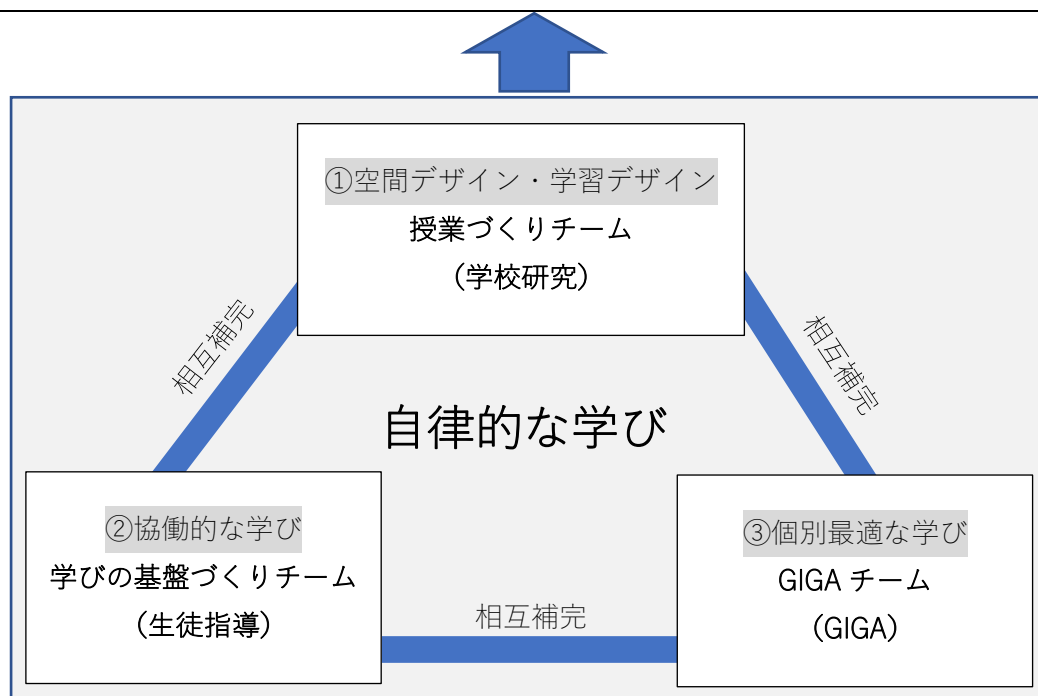
4 研究組織



5 研究構想図

学校教育目標 それぞれの個性を大事にし、心身ともに力強く成長し、未来を創る生徒の育成 目指す生徒像 ・ 互いを認め合い、支え合う生徒 ・ 自ら考え行動し、学び合い、高め合う生徒
--

研究主題	自律的に学ぶ生徒の育成
------	-------------



- ①空間デザイン、学習デザインは授業づくりチームがアプローチしていく。空間デザインは校舎中に学びの機会を取り入れ、生徒たちが日常的に学びを体験できる場を増やしていく。学習デザインはより効果的な学習環境を構築するための方法を考えていく。
- ②協働的な学びは生徒指導チームからアプローチしていく。協働的な学びは、生徒が自分自身だけでなく他の人とも協力して学ぶことを促すことで、コミュニケーションスキルや協調性、リーダーシップスキルなど、社会的なスキルの発達につながる。教師は、グループワークやディスカッションなどの活動を通じて、協働的な学びを促す。さらに、教師は、グループの中で生徒が自律的に学ぶように指導し、お互いの能力を認め合い、助け合いながら成長できるような環境を作っていく。
- ③個別最適な学びについては GIGA チームからアプローチしていく。GIGA スクール構想は、教育現場におけるデジタル化を推進する政策であり、ICT（情報通信技術）を活用した個別最適な学びを推進する。例えば、生徒一人ひとりに合わせた学習支援ツールや、オンライン授業の活用を提案し個別最適な学びの実現に向けて取り組んでいく。